

隈研吾氏とSDGs・プロミス・ジャパン： ガーナにおける職業訓練校建設・運営支援事業に着手



特定非営利活動法人 SDGs・プロミス・ジャパン（以下 SPJ、理事長：鈴木りえこ）は、隈研吾氏（建築家、東京大学特別教授・名誉教授）とともに、ガーナ共和国（以下ガーナ）における職業訓練校建設・運営支援事業に着手します。

職業訓練校イメージ図 ©KCAA

【事業概要】

事業名：ガーナにおける職業訓練校建設・運営支援事業

事業地：ガーナ・アシャンティ州アマンシー西地区マンソ・ヌクワンタ村

事業期間：2023年3月～2026年2月の3年間（予定）

資金：SPJ（1,000万円）、外務省のODA「日本 NGO 連携無償資金協力」（初年度 7,284万円）

事業の主体：特定非営利活動法人 SDGs・プロミス・ジャパン（SPJ）

協力：隈研吾建築都市設計事務所

当事業は、SPJがガーナのアシャンティ州アマンシー西地区マンソ・ヌクワンタ村（旧ミレニアム・ビレッジの一部）において、若者（18歳から35歳）を対象とした職業訓練校（科目：石工及び大工、配管・タイル張り等を予定）を建設・運営支援するものです。成果としては、地元の若者に就職の機会を提供し、地元の安定と発展を目的としています。なお、この事業はガーナへの単なる教育施設の建設支援ではなく、日本を代表する建築家の隈研吾氏の設計により、同氏のコンセプトにも影響を与えたアフリカ文化と日本の文化を融合させる画期的な企画となることと期待しています。

SPJは、これまでも主としてアフリカを対象に幼児教育支援や農民の自立支援、被災者支援などの貧困削減活動を行ってきました。SPJでは今年設立15年を迎えるにあたり、今回の事業をその集大成と位置づけています。SPJは、当事業の運営主体となると共に基本資金の拠出（外務省からのODAほか）、ガーナ側との折衝に当たります。隈研吾氏には、建築設計を無償で行って頂きます。

職業訓練校の建設は、本年夏頃から始まり、2024年春頃にはワークショップ教室を2室完成させる見込みです。それに並行して1年目は石工授業を開始、2年目は、教員のための校舎を作りながら、配管授業も始める予定です。3年目は座学用の教室を建てながら、大工の授業を開始します（予定）。その他、資金を集めて教員や学生用の寮、村人の憩いの場の建築も企画しています。学生数としては、1年目に石工科目の20名が入学し、校舎が完成予定の3年後には約120名を見込んでいます。今回、3年間の校舎総事業費は約2億円、その後の企画である寮や村人の憩いの場の建設を加えると総額8億円程度を予想しています。寮や村人の憩いの場の建築費は、クラウドファンディングなどでの資金調達を考えており、今後、広く、社会からご賛同、ご支援を頂きたいようお願い申し上げます。なお、SPJは認定NPO法人のため、ご寄付は税額・所得控除の対象となります。

【背景】

ガーナはかつて世界最大級の金の産地であり、近年の金価格の高騰により、違法採掘者が増加していました。特にアシャンティ州内でも最も貧しい地区の一つである本事業予定地では、外国からの直接投資や違法採掘活動の増加に伴い、若者たちが違法採掘に従事し、危険な作業や過酷な労働環境により、病気や怪我などが増える貧困の悪循環に陥っています。地元では新たな雇用機会の創出が喫緊の課題となっているため、この問題を解決するため、地元の伝統的指導者からSPJの提携NGO団体へ土地が提供されました。SPJ特別顧問でもある隈研吾氏は、この事業の主旨に賛同し、本職業訓練学校の建築設計を無償で行うと申し出てくださり、この度実施の運びとなりました。

【関係者からのコメント】

「駐日ガーナ大使館は、Manso Nkwanta でのこのプロジェクトに対して非常に期待しています。また、外務省、国際協力機構（JICA）、SDGs・プロミス・ジャパン、隈研吾教授をはじめ、日本とガーナのパートナーに感謝いたします。この職業訓練校が、両国の長期にわたる優れた協力関係の新たな柱になることを確信しています。」

Genevieve Edna Apaloo 氏（駐日ガーナ大使）

「自然と人間の調和の時代において、ガーナと日本のように自然に対する感謝の深い国が共にコラボレーションすることはとても重要です。学生時代にアフリカ・ガーナを旅行した時の記憶は鮮明に覚えていて、ガーナの人々の優しさが今でも心に残っています。」

隈研吾氏（東京大学特別教授・名誉教授）

「隈先生と初めてお会いした時、先生が「僕はまだアフリカで設計したことがない」とおっしゃられました。その時、先生のアフリカに対する強い熱意を感じ、ぜひ一緒にアフリカでお仕事をしたいと考えました。この事業の実現まで数年かかりましたが、隈先生とそのチームの方々が辛抱強くご協力くださり、無償で設計イメージを制作していただくことができました。地元の関係者からも心から喜んでくださっています。皆さんと力を合わせてアフリカの発展に少しでも役立つことができれば望外の喜びです。」

鈴木りえこ（特定非営利活動法人 SDGs・プロミス・ジャパン理事長）

【隈研吾氏の略歴】

1954年生。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授。30を超える国々でプロジェクトが進行中。自然と技術と人間の新しい関係を切り開く建築を提案。主な著書に、『全仕事』（大和書房）、『点・線・面』（岩波書店）、『負ける建築』（岩波書店）、『自然な建築』、『小さな建築』（岩波新書）、他多数。

【SDGs・プロミス・ジャパン（SPJ）について】

SPJ（旧ミレニアム・プロミス・ジャパン：MPJ）は、2008年に国連事務総長特別顧問（当時）のジェフリー・サックス教授（コロンビア大学）らが、ニューヨークで設立したミレニアム・プロミスの主旨に賛同し、そのグローバルアライアンスとして設立された東京都の認定NPO法人です（共同設立者：北岡伸一、鈴木りえこ）。SPJは、SDGsの達成に向けて、アフリカをはじめとする発展途上国にて、貧しい人々のための支援活動（難民支援、女兒の教育支援、農民の自立支援、自然災害被災者支援、顧みられない熱帯病（NTDs）のアドボカシー活動など）に取り組んでいます。

問い合わせ窓口：特定非営利活動法人 SDGs・プロミス・ジャパン（SPJ）事務局

TEL: 03-5842-2801 Email: office@sdgspromise.org

ガーナにおける職業訓練校建設・運営支援事業 寄付口座：

SPJは認定NPO法人のため、ご寄付は税額・所得控除の対象となります。

・みずほ銀行 本郷支店 普通口座 2714991 特定非営利活動法人 SDGs・プロミス・ジャパン
・郵便振替口座 00190-3-650992 特定非営利活動法人 SDGs・プロミス・ジャパン

※ お手数をおかけいたしますが、ご寄付をお振込みいただく際、「ガーナにおける職業訓練校建設・運営支援事業への寄付」と明記の上、下記をメール（office@sdgspromise.org宛）にてご連絡ください。入金確認後、領収書を送付いたします。

①氏名もしくは法人名、②ふりがな、③郵便番号と住所、④電話番号、⑤肩書、担当部署（任意）、⑥入金方法（みずほ銀行もしくは郵便振替）